

重電メーカーの仕事を学ぶ！技術職インターンシップ 開催レポート

2019年8月21日-22日、8月28日-29日、9月4日-5日 日新電機株式会社 京都本社(研修センター)

理系の方向けに、2日間の技術職インターンシップを開催しました。重電メーカーの仕事を学ぶ場として、当社のオーダーメイドのものづくりに関わるさまざまな技術者の仕事をご紹介します。

多くの方に参加していただき、技術講演・工場見学・グループワーク・社員との交流会等、2日間で多くのプログラムを体験していただきました。

内容

● 工場見学

配電盤、変圧器、コンデンサ、太陽光発電用パワーコンディショナ、電子線照射装置など、さまざまな製品の工場を見ていただきました。



変圧器



電力用コンデンサ



太陽光発電用
パワーコンディショナ



電子線照射装置

● 安全実習

安全体感実習室で、わざと危険な状態に加工している通路や階段を実際に歩いてみることで、日常に起こりうる危険を知っていただき、安全に対する意識の向上を図りました。

● グループワーク

ものづくりを体験するグループワークと、未来のエネルギー活用のアイデアを出し合うグループワークを行いました。目標に向かってチームで協力したり、さまざまな意見を元に議論したりすることで、参加者同士の交流も深まりました。

● 技術講演

営業技術・研究の社員が登壇。太陽光発電・発電機・蓄電池などの分散電源を組み合わせ、エネルギーコスト削減や災害リスクに備えた電力供給システム(SPSS)の紹介や、発電機、高速スイッチ等を用いた瞬低・停電対策の検証実験などを紹介しました。また、生産技術の社員からは、自部門で設計した製造装置や、自動化・合理化の技術検証について紹介しました。

● 社員交流

技術講演を行ったメンバーとの交流を行いました。学生の方からの質問に答える形で、社員から1日の仕事のスケジュールや仕事の難しさややりがい、日新電機に入社したきっかけなどをお話しました。

★インターンシップの最後には人事担当者から学生にフィードバックを行い、インターンシップを通して見えたそれぞれの強みや改善点をお伝えしました。

参加者の声(アンケートより)

- 「工場では、普段なかなか見られないオーダーメイドのものづくりを間近で見ることができた。」
- 「安全実習では、危険なシチュエーションを体験することで、危機管理意識が身についた。」
- 「グループワークでは、利益を出す難しさを痛感すると同時に、チームワークの大切さを実感した。」
- 「社員交流では、入社のきっかけや残業時間など何でも気軽に質問することができ、疑問が解決できた。」
- 「日新電機の事業の幅に驚いた。社内の雰囲気などネットでは分からない多くのことを知ることができた。」
- 「社員からの今後のアドバイスがありがたかった。他大学の人と意見交換できたのも良い経験となった。」



電子線照射装置を間近で見学



安全の大切さを身をもって体感



ものづくりのグループワークで盛り上がる



技術職社員から事業・製品を紹介



さまざまな質問が出た社員交流

当社の詳しい情報はこちらから ▶

